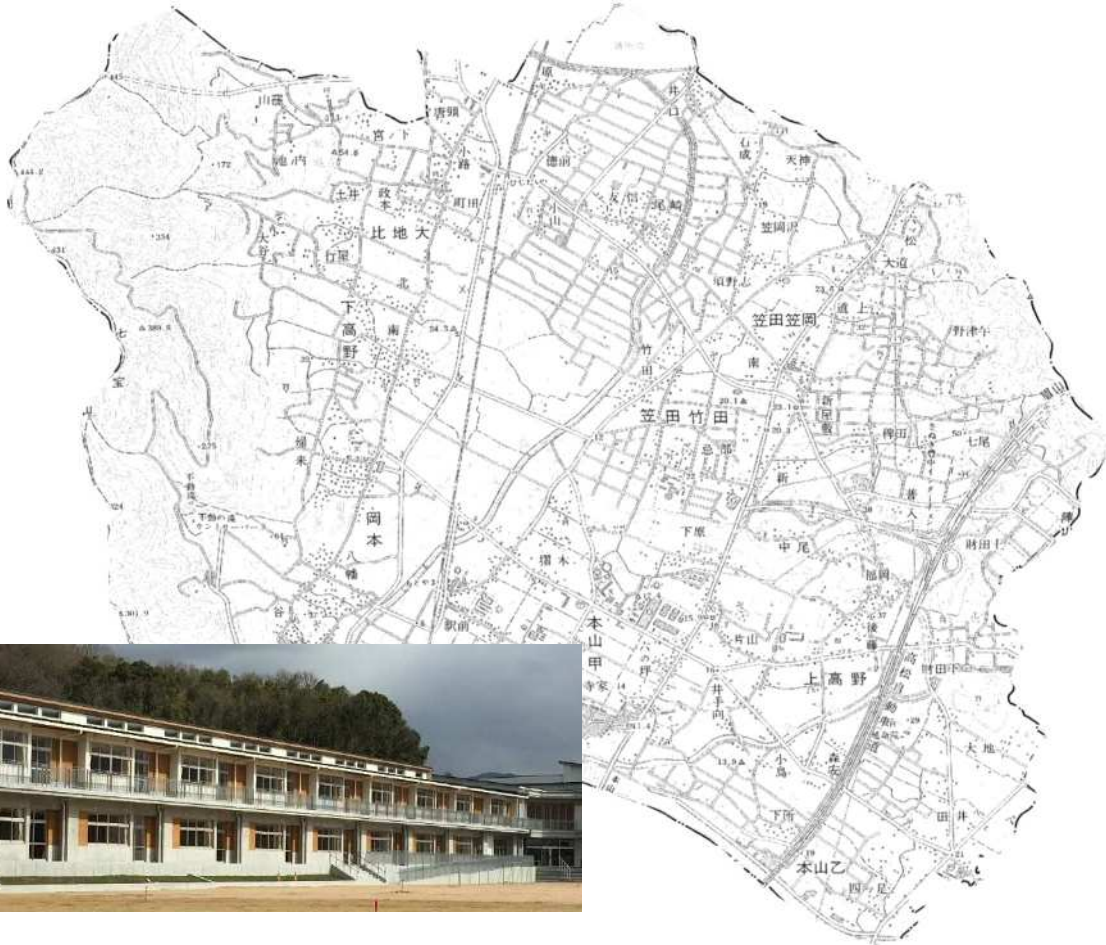


「笑顔あふれる学校をめざして」

豊中地区における新しい学校づくり

教育委員会では桑山小学校・比地大小学校・笠田小学校・上高野小学校・本山小学校の統合を考えながら「豊中地区における新しい学校づくり」をめざし、笑顔あふれる新たな学校づくりについて話し合いを始めます。



(イメージ)



少子化や学校規模の格差拡大など、現在の学校教育環境を考え、適正な学校規模や学校の配置について平成23年に三豊市立学校の適正規模・適正配置検討委員会より、三豊市立学校の適正規模・適正配置についての答申があり『三豊市立学校再編整備基本方針』を策定しました。学校規模の適正化を進める必要がある学校については、各学校の状況にあわせて、保護者、地域住民、学校関係者等とともにこれからの学校教育をどのように充実させていくか、話し合いを進めていきます。

【照会先】

三豊市教育委員会事務局 教育総務課

TEL 0875-73-3130

Email kyouikusoumu@city.mitoyo.lg.jp

現 状

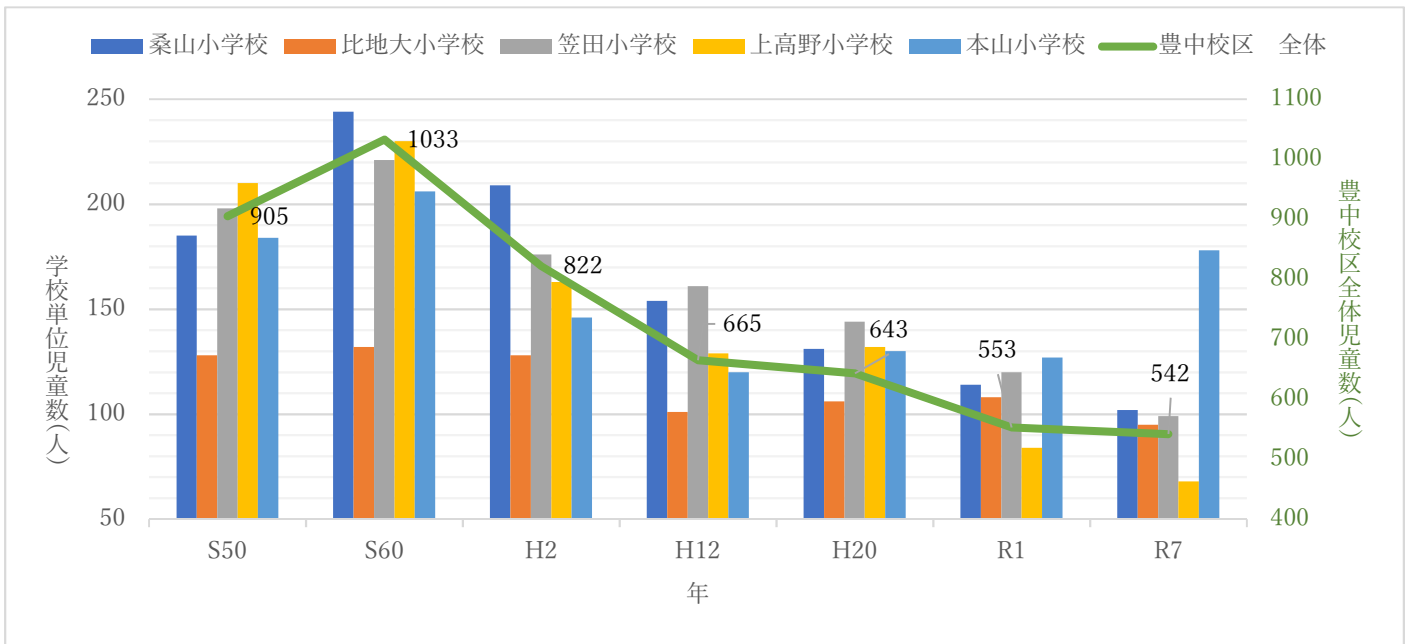
・児童数の減少と学校の小規模化

豊中地区の桑山小・比地大小・笠田小・上高野小・本山小は児童数が減少し、学年1学級になっております。今後7年間のデータを見ると、児童数はさらに減少していく事が想定されます。

今後、学校の小規模化が進むと

- ・運動会等の行事など、集団活動が困難になります。
- ・将来的には複式学級の設置も考えられ、配置教員数の減少が見込まれます。
- ・少人数のためクラス替えができず、人間関係が固定化・序列化する可能性があります。

(豊中地区児童数の推移)



将来像

めざす学校の姿 → 適正な学校規模による、教育環境の充実

★ クラス替え可能な児童数になると、新たな環境をつくることができる。

1 学年2~3クラスになり、クラス替えをして新しい学習環境づくりが可能になります。学年の人数が増えると、新たな友人関係が生まれるとともに、大きな組織の中で競争意識の醸成に繋がります。

★ 小中学校の連携教育がスムーズになる

1 小学校1中学校になると、子供の9年間を見通した連携教育がよりスムーズになります。小学校と中学校との交流が増えて、中学入学時のストレスが減り、生活環境の充実なども期待できます。

★ 専門教員の配置による、学習環境が充実する。

児童数が増えると教職員数も増員され、外国語教育やプログラミング教育など新たな学習に必要な専門教員が配置され、学習環境が充実します。

新しい学校づくり協議会では、

豊中地区の学校課題を解決し、子どもたちの学習環境を良くするため、令和2年から豊中地区における『新しい学校づくり協議会』を作り、夢のある学校づくりについて話し合いを始めます。